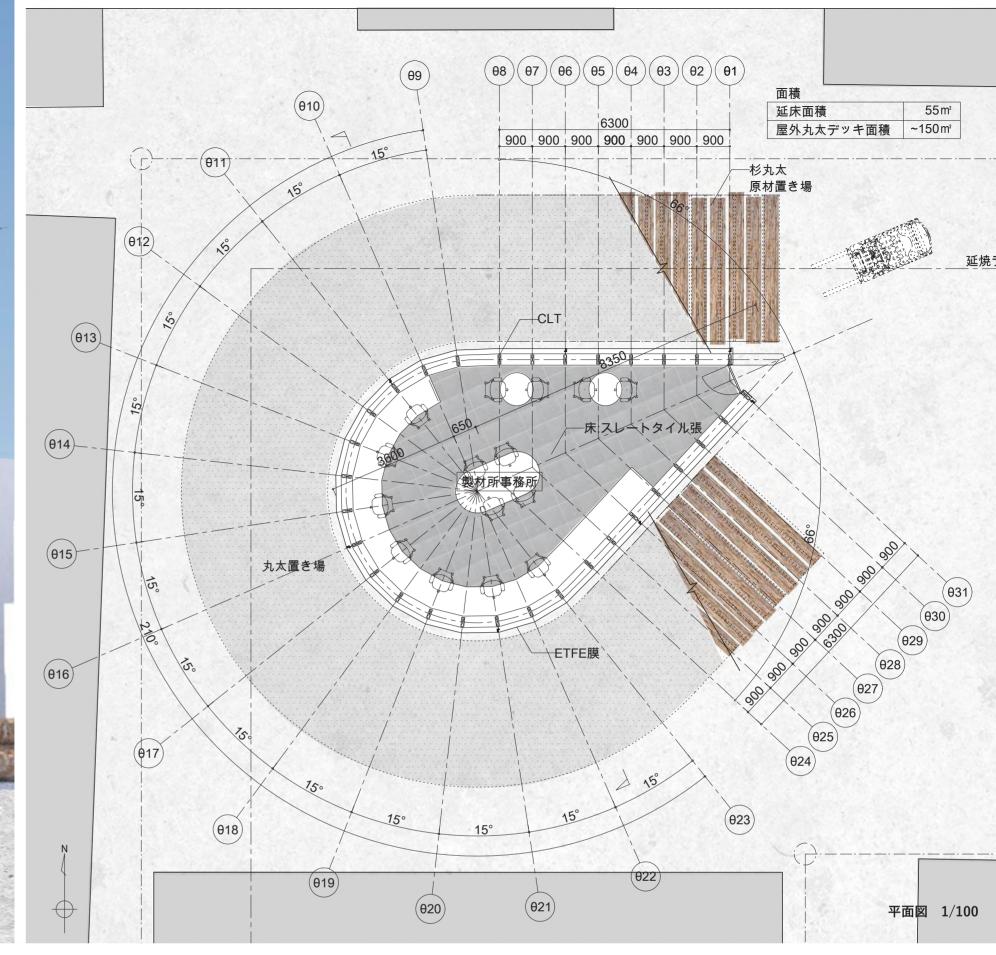
マルタのカタチ

~ 木材流通現場が作る、新しい京都の生業のカタチ ~





最高高さ 軒高さ 7450 西側立面図 1/100 4000 7750 4000

最高高さ 軒高さ 900 900 900 900 900 900 900 1350 4450 12100 南側立面図 1/100 4000 $(\theta 8) (\theta 7) (\theta 6) (\theta 5) (\theta 4) (\theta 3) (\theta 2) (\theta 1)$

京都の木材流通工程を活用して提案する

丸太から仕入れる製材所 搬入・在庫 乾燥・出荷

京都市内にある

製材工程で発生する、 タイムラグと在庫量の変動

変動する床の提案

京都市内の丸太から買付 け、自社で製材をこなす 製材所を想定し、粉塵の 多い工場棟とは別棟の事 務所を計画します。

製材所では日々、原材料 である丸太が搬入され、 また製材作業が行われる ことで丸太の在庫量は 刻々と変化しています。 本提案では、丸太を屋外 デッキとして、事務所等 と一体的な丸太置き場を 計画します。

動線を作り出すと共に、事務所の環境を調整する

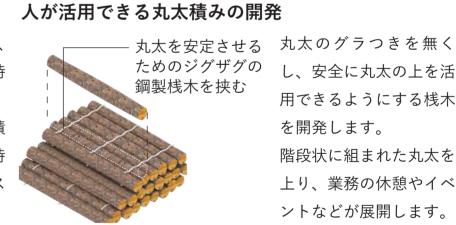
丸太積みのデッキは、フォークリフトの搬入経路のため事務 所の建築を囲むように配置されます。内部からは囲まれた丸 太の木口が内装の役割を果たし製材所ならではの事務所空間 を創ります。また日射を遮り、含水量の多い丸太は周辺の熱 を取り、建物への熱負荷を低減させ換気の風を創りだします。

現状の丸太在庫は場所を圧迫するものでしかない



丸太は搬入されると通常、 野積みにされ製材される時 を待ちます。

丸太の保管には大きな面積 が必要で、在庫量の多い時 は、製材所での人の活動ス ペースを圧迫します。



し、安全に丸太の上を活 用できるようにする桟木

を開発します。

階段状に組まれた丸太を 上り、業務の休憩やイベ ントなどが展開します。

